

茨城県知事賞

ふくろぎやじかしゅうらく
袋木屋実賀集落（常陸大宮市）

共同で支え合う農業生産活動

1 集落協定の概要

協定開始年度	平成 13 年度
協定参加者	12 名（農業者 12 名）
協定面積	4.2ha（田・緩傾斜 1/100）
管理水路・農道の長さ	水路 0.9km，農道 1.2km
交付金額（H29）	27 万円（8 割単価・個人分配率：50%）



農地法面の保全



用水路の泥上げ

2 主な活動内容

農用地，水路・農道の管理活動	多面的機能の増進活動	特記事項
<ul style="list-style-type: none">・農地法面の定期点検 定期的な点検を実施・水路 0.9km 年 2 回清掃，草刈り・農道 1.2km 年 1 回草刈り	<ul style="list-style-type: none">・周辺林地の下草刈り 年 2～5 回実施	<ul style="list-style-type: none">・鳥獣害防止対策 ワイヤーメッシュの設置 及び箱わなを設置し定期的に 巡回を実施

3 地域の状況と取り組みへのきっかけ

- ・本地域は，常陸大宮市の北部に位置する田園地帯です。過疎地域等及び県知事特認地域に指定され平場と比較すると生産条件の格差が大きく，農業者の高齢化・後継者不足による農村環境の維持が困難な状況でした。
- ・これらの問題を解決するために，平成 13 年度から取り組みを開始しました。

4 特徴的な取組

- ・農業者の高齢化が進む中，地域のクリーン作戦と共同で草刈りを実施することにより，地域住民と一体となった保全管理体制を確立し，適切な農地の維持・保全に努めています。
- ・山際の農地に延長数百メートルにわたるワイヤーメッシュ柵や箱わなの設置など，地域一体となり積極的な鳥獣被害防止対策に取り組んでいる他，耕作が困難となった農地について，協定参加者の共助により，農業生産活動を持続する体制を構築しています。



ワイヤーメッシュ柵の設置



鳥獣被害防止対策（箱ワナの設置）



農道の草刈り



農地の適正管理による耕作放棄地発生防止

5 取組の成果・効果

- ・共同活動に取り組むことで，用水路や農道などが適正に維持されています。
- ・ワイヤーメッシュ柵の設置等により，イノシシによる被害が軽減し，農業者の耕作意欲の低下を防ぐことが出来ました。
- ・将来にわたり農業生産活動が可能となる集落内の実施体制の構築を目指して，引き続き共同活動を継続していきます。